



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイマックス

コード番号 4299 URL <https://www.himacs.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高田 賢司

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画本部長 （氏名）小田島 輝 TEL 045-201-6655

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,124	15.0	232	△1.2	234	△1.3	149	△7.0
2026年3月期第1四半期	4,454	2.9	235	△22.0	237	△21.7	161	△22.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 159百万円（5.4％） 2026年3月期第1四半期 151百万円（△25.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.33	—
2026年3月期第1四半期	13.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	13,564	10,823	79.8	1,038.41
2026年3月期	13,522	10,904	80.6	1,046.19

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 10,823百万円 2026年3月期 10,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		28.00	—	23.00	51.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2027年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 23円 記念配当 5円

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	9,810	9.6	380	△44.2	395	△43.3	220	△53.4
通期	20,000	9.8	1,200	△23.2	1,220	△22.9	780	△31.6
								74.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) 株式会社コアソフト、 除外 — (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- | |
|----------------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) |

2027年3月期1Q	11,000,000株	2026年3月期	11,000,000株
2027年3月期1Q	577,088株	2026年3月期	577,048株
2027年3月期1Q	10,422,940株	2026年3月期1Q	11,592,075株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は T D n e t で同日開示しています。

当社は、決算発表日の翌営業日にアナリスト向け説明会の動画(録画)を配信する予定です。また、この説明会の動画につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象の注記)	6
(その他の事項)	7
(生産、受注及び販売の実績)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、デジタル化や省力化等の設備投資を中心に持ち直すなど、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、物価上昇の継続、海外経済の動向、中東情勢を含む地政学リスクの高まりや金融資本市場の変動など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては企業におけるAI活用やデジタル活用の高度化、既存システムのモダン化、行政サービスのデジタル化等を背景として、IT投資需要が堅調に推移しております。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画『Re:Growth2028』を開始し、「安定的な収益基盤の拡大」と「新たな成長領域への挑戦と創出」の両輪により、持続的な成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでおります。特にAIの活用を成長戦略の中核と位置付け、AI駆動開発[※]の標準化・高度化、AI人材の育成及びAIソリューションの事業化へ向けた取り組みを推進いたしました。また、当第1四半期より株式会社コアソフトを連結の範囲に含めております。

その結果、連結売上高は5,124百万円（対前年同四半期増減率15.0%増）となりました。一方、利益面につきましては、売価改善や案件規模の拡大により収益性の向上が進んだものの、将来の成長に向けた人材投資及びビジネスパートナー活用に伴う費用増加等により、営業利益は232百万円（同1.2%減）、経常利益は234百万円（同1.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円（同7.0%減）となりました。

サービス分野別の売上高については、システムの企画／設計・開発フェーズで提供するシステム・ソリューションサービスは、SIer向け開発案件がメンテナンスフェーズへ移行したこと等により、1,567百万円（対前年同四半期増減率6.9%減）となりました。また、システムの稼働後に提供するシステム・メンテナンスサービスは、受注高が順調に伸長したことに加え、株式会社コアソフトの連結子会社化やSIer向け案件の拡大等により、3,557百万円（同28.4%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の業種別売上高は、7ページに記載のとおりであります。

(※) AI駆動開発：設計・実装・テスト等の開発工程の一部または複数の工程にまたがってAIを活用する開発手法

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は13,564百万円となり、前連結会計年度末（13,522百万円）と比較して42百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が1,010百万円減少した一方、のれんが783百万円、売掛金が153百万円、流動資産その他が94百万円それぞれ増加したことです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,740百万円となり、前連結会計年度末（2,617百万円）と比較して123百万円増加しました。主な要因は、賞与引当金が361百万円減少した一方、流動負債その他が467百万円増加したことです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,823百万円となり、前連結会計年度末（10,904百万円）と比較して81百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円を計上した一方、剰余金の配当240百万円の支払により利益剰余金が90百万円減少したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,818	7,808
売掛金	2,544	2,697
契約資産	130	91
電子記録債権	-	15
仕掛品	38	68
その他	89	184
貸倒引当金	-	△1
流動資産合計	11,620	10,862
固定資産		
有形固定資産	56	59
無形固定資産		
のれん	-	783
その他	68	64
無形固定資産合計	68	848
投資その他の資産		
長期預金	600	600
その他	1,180	1,197
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,778	1,795
固定資産合計	1,902	2,702
資産合計	13,522	13,564
負債の部		
流動負債		
買掛金	796	850
未払法人税等	182	106
契約負債	19	67
賞与引当金	677	316
役員賞与引当金	46	13
受注損失引当金	25	43
その他	581	1,048
流動負債合計	2,326	2,444
固定負債		
退職給付に係る負債	291	294
その他	-	2
固定負債合計	291	296
負債合計	2,617	2,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	689	689
資本剰余金	666	666
利益剰余金	10,113	10,023
自己株式	△533	△533
株主資本合計	10,935	10,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	5
退職給付に係る調整累計額	△34	△26
その他の包括利益累計額合計	△30	△21
純資産合計	10,904	10,823
負債純資産合計	13,522	13,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,454	5,124
売上原価	3,573	4,074
売上総利益	881	1,049
販売費及び一般管理費	646	817
営業利益	235	232
営業外収益		
雑収入	2	2
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	237	234
税金等調整前四半期純利益	237	234
法人税等	77	85
四半期純利益	161	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	161	149

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	161	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
退職給付に係る調整額	△10	9
その他の包括利益合計	△10	9
四半期包括利益	151	159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151	159
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、バリュー・ソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	4百万円	7百万円
のれんの償却額	-	13

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

(その他の事項)

(生産、受注及び販売の実績)

当社グループの事業は、バリュー・ソリューションサービス事業単一であります。サービス分野別の生産、受注及び販売の状況を示すと、次のとおりであります。

①生産実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	1,548	△9.6
システム・メンテナンスサービス	3,549	27.3
合計	5,097	13.3

②受注実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)			
	受注高	対前年同四半期 増減率 (%)	受注残高	対前年同四半期 増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	1,468	△12.2	994	△19.7
システム・メンテナンスサービス	3,237	28.2	2,399	20.0
合計	4,705	12.1	3,393	4.9

(注) 受注高は「顧客契約管理規則」に基づき個別契約の締結時に計上しております。

③販売実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	1,567	△6.9
システム・メンテナンスサービス	3,557	28.4
合計	5,124	15.0

(注) 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
株式会社野村総合研究所	1,631	36.6	1,719	33.5

また、業種別販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

業種別		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
金融	銀行	714	2.4
	証券	312	46.6
	保険	1,510	9.2
	クレジット	740	12.6
金融小計		3,276	11.1
非金融	公共	376	16.2
	流通	236	△9.5
	その他	1,236	34.3
非金融小計		1,847	22.8
合計		5,124	15.0